

## 東京外国語大学 環境経営論アンケート

開講日：平成18年8月1日 AM

講師：小野木正人

### 1. 今日の講義の感想は？（複数選択可能）

- ① 楽しかった・・・・・・・・・・6人
- ② 面白かった・・・・・・・・・・10人
- ③ 勉強になった・・・・・・・・・・11人
- ④ わかりやすかった・・・・・・・・・・9人
- ⑤ もっと聴きたかった・・・・・・・・・・4人
- ⑥ 難しかった・・・・・・・・・・1人
- ⑦ 実践してみようと思った・・・・・・・・・・1人
- ⑧ 思っていたイメージと違った・・・・・・・・・・0人
- ⑨ わかりにくかった・・・・・・・・・・0人
- ⑩ 友達にも薦めたい・・・・・・・・・・3人
- ⑪ その他・・・・・・・・・・0人

### 2. 今回の講義内容で、何が一番印象的でしたか？

- クイズ形式によって、知らないことが確かな知識となった。(6)
  - こういうゲーム形式で学べる学校教育があるといいのではないか。
  - 自分のイメージと世の中にすごくギャップがあった。
- 隣の人と話し合いをして、考えさせる方法も効果的だった。
  - 話し合いをすることによって、はじめて問題について「考えなければならない」という状況が生まれるため。
  - このような授業スタイルは東京外大にないため、これからもどんどん実践してもらいたい。
- プラスチックを焼却すると、大量の温室効果ガスが発生し、温暖化の原因になること。(7)
- ISOが国際標準化機構だということ。
- 日本がISO14001を世界一取得していること。
  - 多いとは思っていたが、アメリカが一番だと思っていたので意外だった。
  - 日本は環境対策が遅れていると思っていたので、意外だった。
- ISO14001:2004に移行できなかった企業数の多さ

### 3. あなたにとって、得るもの、気づきなどはありましたか？

- 授業によって、日常生活の何気ない部分を変えることが可能だとわかった。
- 利害関係者のことは常に考慮に入れなければならない点。
- EMSで何をどう管理するのか、ということをもっと深く知りたい。
- 自分がいかに事実を知らないかがわかった。
- 「フロンは空気より重い」まんまとだまされていた。
- プラスチックごみを減らすことは、電気を使わなくするより、ごく簡単なことではないかと思った。
- プラスチック、ビニールを燃えないごみにしている府中は少し進んでいるのだと思った。
- プラスチックはある意味危険だと思った。
- 今回知ったような事実がありながら、メディアで「エコ製品を買おう、使おう」という文句ばかり言われているという事実に、日本の問題を感じた。

### 4. 上記以外で、受講した感想を自由に書いてください。

- クイズで半分ほどしか確信を持って答えることができなかったのが残念だった。
- オゾン層破壊のプリントで、先進国では日焼け防止を徹底していると書いてあったが、ビーチで真っ赤に日焼けしている人がたくさんいるのはどういうことか？
- ISO14001の「14001」に特別な意味があるのか？